

令和7年5月7日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をより詳しくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、5月13日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和7年5月15日（木）15:30 ～ 17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・ **みんなく映画会 企画展関連イベント エジプト映画「フォトコピー」**（話者：相島葉月 准教授）
- ・ **みんなく音声ガイドの公開について**
（話者：工藤さくら 人文知コミュニケーター（特任助教）、日高真吾（教授））
- ・ **最新の研究『鵜飼の日本史-野生と権力、表象をめぐる1500年』**（話者：卯田宗平 教授）
- ・ **最新の研究『脱観光化の人類学-かわりゆく観光と社会のゆくえ』**（話者：奈良雅史 准教授）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOM にて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 5 月 15 日 (木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声が出ないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2025 年 5 月 15 日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. みんなの映画会

『フォトコピー』

大手出版社の植字工を退職したマフムードはコピー屋を営み静かに暮らしていました。大学生に代筆を依頼されたレポートより、恐竜が自然環境の変化に適応できずに絶滅したことを知り衝撃を受けます。恐竜の絶滅についてもっと知りたいという思いから、新しいテクノロジーと向き合う決意をし、新しい生き方を模索します。



©Red Star Films

日 時 2025 年 6 月 8 日(日)13 時 30 分～16 時 00 分 (13 時 30 分開場)
会 場 みんなのインテリジェントホール (講堂) (定員 350 名)
参加費 要展示観覧券 (一般 580 円) ※イベント参加費は不要
解 説 相島葉月 (本館 准教授)
※事前申込制 (本人を含む 2 名まで)、先着順
※一般受付/6 月 4 日(水)まで

— 相島 葉月 (グローバル現象研究部 准教授) —

4. 本館展示

みんなの音声ガイドの公開について

この度、新たに自動運転モビリティに「音声ガイド機能」が付きしました。

2024 年 10 月に運用を開始した WHILL 自動運転モビリティに搭乗しながら、展示の見どころなどを音声で楽しむことができます。また、来館者個人のスマートフォンや貸し出し用スマートフォンを用いて体験することも可能です。



— 工藤 さくら (人文知コミュニケーション・特任助教) —

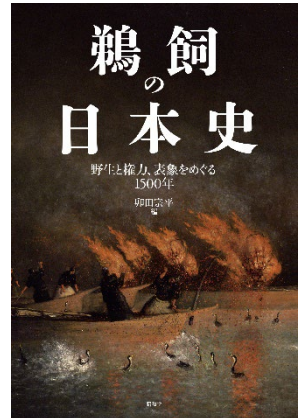
— 日高 真吾 (学術資源研究開発センター 教授) —

5. 最新の研究紹介

『鵜飼の日本史—野生と権力、表象をめぐる 1500 年』

（卯田宗平 編／昭和堂）

日本列島において 1500 年以上も続く鵜飼漁。その全体像を時代や分野を越えて初めて明らかにしました。さらに、なぜ野生のウミウにこだわるのか、なぜ日本独自の漁法が生みだされたのかといった問いにも答えを出しました。



— 卯田 宗平 （グローバル現象研究部 教授） —

『脱観光化の人類学——かわりゆく観光と社会のゆくえ』

（東賢太朗・福井栄二郎・奈良雅史編／ミネルヴァ書房）

現代社会において大衆化した観光は異文化交流を促進する一方、オーバーツーリズムなどの問題も引き起こしてきました。本書は「脱観光化」をキーワードとして観光の光と影を民族誌的事例に基づいて論じます。



— 奈良 雅史 （学術資源研究開発センター 准教授） —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp